

平成26年1月1日

社会福祉法人秋田育明会

■竹生寮家族会

■柳田新生寮保護者会

合同発行

ホームページ

<http://www.ikumei.or.jp>

秋田市柳田字竹生168

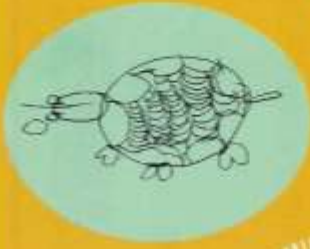
電話 竹生寮 018(834)2577

柳田新生寮 018(835)3371

H26
第28号

ねがい

新年あけまして
おめでとうございます



絵 松本 長靖
文 熊谷 芳紀

私とおさやすさん
んは、友達です。
昼間は、竹生寮で
過ごし、夜は、雪
やなぎで過ごしま
す。おさやすさん
は、雪やなぎに行
けば、よく絵を描
いています。竹生
寮に来れば、ゲー
ムやったり、園芸
班と一緒に作業を
しています。

注*雪やなぎケアホーム

障がいをもった

高齢者を考える

竹生寮寮長 平川 英勝



昭和四十六年六月から数え
ると、竹生寮は今年で四十三
年を迎えました。二十歳入所
した利用者は六十二歳となる
計算です。十年後は？二十年
後は？と考えると高齢者施設
となら変わりなくなってい
まうのではないかと思うこと
が多くなってきました。

このことは竹生寮だけの問
題ではなく、全国的に障がい
者の入所施設では直面した問
題であります。同じような時
期に入所施設ができ、年月を
重ねてきました。皆が経験し
たことがない状況になってき
ているのが現状です。
利用者の中には認知症に
なっている方、高齢で障がい
のため嚥下障がいのある方、
嚥下機能が低下して来ている
方なども増えてきており、常
に医療機関との連携が欠かせ
ない状況で、職員も少ない人
数ながら、それに対応すべく
支援や介護を含め毎日が緊張
の連続であると思います。
先日も、前々から腎臓に病
を持った利用者が病院に入院
した翌日に急変し亡くなるこ
う悲しい出来事がありました。
高齢で障がいを持つてい
て、自分のことを訴えること
が出来ない利用者への対応の
難しさを感じたときでもあり
ました。

最近の研修会でも高齢化へ
の対応などのものが多く、高
齢障がい者に関する専門的な



研修会へ職員を派遣すること
が多くなってきました。いか
に利用者が豊かな生活を送れ
るか、いかに尊厳をもって人
生を全うできるかなど看取り
を含めた話も多く聞き、終の
棲家として考えた場合、竹生
寮ではどのようにしてできるの
か？どのようなようにしていくか？
問われている感じでありまし
た。



我々職員はこのことを喫緊
の課題としてとらえ、利用者
の介護支援をしていく覚悟が
必要であると考えます。

設立者の一人門間氏逝く

社会福祉法人秋田育明会

理事長 三浦 憲一

障がいのあるわが子が一
生働きながら安心して生活
できる場を求めて、昭和
四十二年四月、三十八名で
秋田育明会を設立された一
人である門間さんもやはり
高齢には勝てず、今年の十
月に亡き人となりました。
八十七歳でした。

思えば、息子さんが竹生
寮から正月帰省中に寮に帰
ると家を出て、不明とな
り、捜索しましたがなかなか
見つからず、翌朝太平山
でご来光を拝んで帰る登山
者に山道で薄らと雪をか
ぶった、息子さんが仮死状
態のような形で発見され一
命を取り留めました。しか
し、重い凍傷にかかり病院
を入退院を繰り返して、その
都度看まわり、その間に奥
さんも亡くなられた悲痛と
思われる時期もわが子のた
め、竹生寮利用者のため、
その夢の実現に尽力されま
した。

しかし、ついにわが子も

病には勝てず、平成十六年
五月に亡くなられました。
その後も法人の役員とし
て広報誌「ねがい」の編集
者として、頑張ってくれま
した。それは、わが子の魂
はここにあるんだと、詩人
でもあることから「南から
の光と風をあつめ、子供た
ちのここは楽園、住む人も
訪れる人々も一様に優しく
ふれあうところ、こころの
ふるさと」の自らの詩を刻
んだ石碑を建立し、思いを
乗せたのであります。

霊前で次男の息子さんが
「父のある時の姿は生き生
きとしてあった。きつと満
足して
いった
と思っ
ます」
の言葉
に癒さ
れまし
た。



家族会便り



利用者の安全な生活のために

竹生寮家族会会長

中村 繁喜



師走、何かと気ぜわしい頃となりましたが、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃より、当家族会の運営に對しまして、ご理解・ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。さて、竹生寮家族会助成協力基金による事業の棟男子・女子および西棟女子便所改修工事も順調に進み、工事前から施設長、職員間の打ち合わせをしながら利用者に不便をかけない様に配慮いただいている所です。協力事業については利用者が安心して生活出来る様にまた、施設として安全に家族同様ぬくもりを持って暮らして行く手助けをするためのものです。竹生寮も、社会福祉法人



新しい東棟女子トイレです。ピカピカで使いやすいです。

秋田育明会として認可を受けてから早や四十二年を過ぎ、利用者の高齢化・重度化が進んでいる。また医療行為に起因する施設からの退所も有る現実ですが、日頃から施設に對して利用者の健康管理の充実・細々な変化について素早い対応を願う「終の棲家として」利用者・家族のねがいで有ります。新年は六十年に一度の甲午（きのうま）の年だそうです。利用者・家族が健康でありますように!!

屋根の改修工事完了

柳田新生寮寮長
伊藤 良之

このたび、公益財団法人JKAから、平成25年度オートレースの補助金交付を受け、施設の屋根防水改修工事を完了しました。



これからは、台風、大雨、大雪の日でも安心安全。快適な生活をしています。



ありがとうございます！ 毎日快適です



「きれいなトイレで気持ちいいです。」
小林ひとみさん

「段差がなくなり安心です。」
～稲川明美さん

「手すりがたくさんついてよかったです。」
～佐々木摩紀子さん

「今後の課題について」 平成25年度障害者 支援事業合同協議会から

柳田新生寮保護者会会長
中津川正次郎



全体の会議で提起された内容

はいずれも大切なことですが、中でも「保護者・利用者の高齢化への対応をどうするか」の問題は、直面する課題であるだけに話題提供者達からは、日常の支援活動等の経験と思いから、有益な発言が続きました。その中の主な内容について並べてみます。

○知的障害者（施設）と介護医療を有機的に結びつける必要がある。

○本人の状態に応じて、居宅介護、訪問介護等の生活も考えられるのではないかと。

○利用者のターミナルケア（末期医療）について施設でも考えてもいいのではないかと。

○幅広い年齢層（利用者の年齢差の広がりが大き過ぎる）の利用者達の支援をどのようにすすめたらいいか。

今後、利用者、保護者、施設一体の課題として、その実現を目指さなければならぬと実感した次第です。

注：保護者会便りから抜粋させて頂きました

合同収穫祭 11月24日



よそ見しないで、ちゃんと丸く作ってよ。

青明祭 10月5日



とつても楽しかったです。ありがとうございました。

納涼祭 8月20日



総アメなのに、なかなか楽しみ切れないうえ。

ポップサーカス観覧(竹生寮) 8月27日



笑ったり、驚いたりの連続でした。

柳田新生寮・女子合同小旅行 こまち健康ランド 10月29日



ハア、私たちが劇団に入ろうかしら。

外での食事はおいしいなあ。



外での食事はおいしいなあ。

よさこせ歌舞隊「のびさんパワー全開」



よさこせ歌舞隊「のびさんパワー全開」

竹生寮軽作業科女子 日帰り旅行(角館) 9月11日



食べたし、歌ったし、ハイっポーズ。

雄和サイクリングターミナル 11月7日



さあ、ハリキッテ帰って。

利用者のうごき ほとなひととき



竹生寮製品加工男子班日帰り旅行(網張) 9月12~13日



玉川ダムはきれいだなあ。

クリスマス会 12月25日

竹生寮



マックスパリュウ東北 梅広前店様から頂き ました。ごちそう様 でした。

ブラッシング

竹生寮 11月12・14日



なんか、いつもより緊張していませんか？

園芸班合同小旅行(蔵王) 10月10~11日



夜までエネルギーを残しておいて。

環境班・林産班合同 小旅行(浅虫) 10月16~17日



「もしもし、予定通り 宴会のまっ最中ですよ」

柳田新生寮



Mmossメニョ、おいしかったです。

柳田新生寮 11月19・21日



「はい、口を大きく開けて」

農産班合同小旅行(中尊寺) 10月22日~23日



これから只学だよ！ っして来ているかな。

竹生寮軽作業科男子班日帰り旅行(秋田ふるさと村) 10月24日



おーい！みんな目標は、こつたよ！

利用者活動紹介

「食事を支える厨房当番」

竹生寮



お皿を受け取って席まで運ぶ石郷岡一男さん

柳田新生寮



これからもお手伝い頑張ります！

平日の食事時間の前に当番の利用者が厨房の職員の手伝いを行っています。主にテーブルに鍋やおひつ、食事の配膳やおしぼり等を配っています。年々当番に入る事が出来る利用者が減っていますが、現在当番に入っている利用者は当番を行っている事で充実感を感じ、当番が終わった時には良い表情がみられます。厨房職員からは「いつも配膳を手伝ってくれて助かっている。利用者さんがいるといないでは大変さが違う」との話がありました。厨房当番が減り利用者個人の負担が大きくなってきていますが、職員と協力し出来る範囲で続けて欲しいと思います。



町内清掃実施

竹生寮介護支援員 小玉明希子



落ち葉が重くて大変！

11月14日、竹生寮の農産班、環境班、園芸班と柳田新生寮の男子実習班の利用者合同で町内清掃を行いました。両施設の職員と来寮していた実習

生と協力しながらケアホーム前の道路の落ち葉を皆で集めます



ケアホーム前の道路の落ち葉を皆で集めます

集めました。当日は晴れてましたが前日までの雨で落ち葉が濡れ重くて集めるのが大変でしたが2時間程かけて綺麗に集めることが出来ました。特に清水川昭助さんの集め方が丁寧で「掃除しやすい」と職員に話しかけられ満足そうな表情がみられました。今後も行事はもちろん、このような清掃活動でも町内との関わりを続けて行きたいと思えます。

日本財団助成 決定!!

この度日本財団よりキャラバンの助成金が決定しました。このキャラバンは主に車イスを使用している利用者の送迎等に活用する予定となっており、来年の2月に納車予定になっています。



移動がラクになるね!!

「私たちも参加しよう 募金運動」とりまとめ会参加

竹生寮介護支援員 石井ゆかり

12月13日「私たちも参加しよう募金運動とりまとめ会」に参加して来ました。竹生寮と柳田新生寮の利用者・職員からの募金と空缶集めで得た収入を合わせ秋田県共同募金会へ贈呈しました。

竹生寮からは世淵栄子さん、柳田新生寮からは川辺光太郎さんが代表して持って行きました。集められたお金は歳末たすけあいに渡されます。募金を通じて少しでも他の困っている方の助けとなれば幸いです。



健康管理 パート(28)

看取りについて

竹生寮看護係長

工藤トモ子

先日、研修会に参加させていただきましたが、その中で行政の流れにより入院ベッド数が減少及び急性期の治療で経過良ければすぐ退院。高齢化社会の中で今迄では病院で点滴、酸素マスク・尿管など体にチューブが下げられ最期を迎える事が当たり前でした。当施設も協力医のものとで看取っていただきました。

ところが施設でも看取り傾向を受容せざるを得なくなつて来ております。避けて通れない課題となりました。

この様な情勢により施設と御家族との情報交換、御理解が必要になってくる事と思ひテーマにしてみました。

それでは、今後の流れとして、急性期で治療する事により病気がなおりますよと診断された場合は、入院可。治療しても見込みがないと診断さ

れた場合、死亡を柱に施設でも人としての自然な要求人生最期の仕事として「自分らしくこの世を去る」その支援をしていくこと。つまり看取りを病院から生活の場に戻し、利用者・家族・施設職員、嘱託医が連携を取りながら、毎日の生活の中で食事・排泄・清潔・苦痛を和らげる事を重点とし最期迄ケアする事です。

私達にとつての意味は、人生の幕引きまでが仕事となる事と考えます。

つまり、人生から学ぶ事が多いと思われまふ。

・最期に人へ何を残し何を教えてくれたのか。

・最期に残された人はその人から何を学んだのか。

・人生の幕引き、物語の最後に寄り添うことに私達が選ばれるわけです。支えるつもりが支えられていたという大きなギフトもあると考えます。

まずは、御家族とも充分話し合いの中で利用者、家族、介護者が安心し共感をもちながら一人一人の死生観を持ち医療主導にならず、その人だけの人生を最後に見送る。これが私達のこれからの課題です。

最後に病院では、急性期の治療しか行なわれない流れになつてることを理解して下さい。

★シール貼り★ 頑張りました!

秋田県遊技業協同組合様より
秋田ヤクルト販売㈱ 様より
12月上旬に、お茶や缶コーヒー等の飲料容器に「御年賀」シールを貼る作業の依頼が入りました。男子利用者さんを中心に、皆さんで作業工程を

分担しながら協力して取り組みました。
その御礼として、12月12日に秋田キャッスルホテルにて贈呈式が行われました。
秋田県遊技業協同組合様、秋田ヤクルト販売㈱様より、掃除機をいただいています。各部屋の掃除に役立させていただきます。ありがとうございました。



合同研修会 12月4日

「健康のためのストレッチ体操」

～ヨガで心も体もリフレッシュ～



全米ヨガ連盟登録公認インストラクターでヨガ歴25年の今野恵方氏を迎え柳田新生寮訓練棟にて行われました。
本格的なストレッチの前にまずは前屈で自分の柔軟性を確認。唸り声を挙げながら、体を曲げる職員に今野氏より「痛くなったらやめて下さい。」と助けの声。ふっつと大きく深呼吸しながら、いつもは縮こまっていた体を大きく伸ばし筋肉をほぐします。ほぐされたところで片足立ちでバランスをとる、ポーズをとるのですが、こちらも堪えきれず倒れる職員や苦悶の表情で耐える職員が殆どでした。体全体を動かすヨガが中心でしたが、手を使ったマッサージュも教えて頂きました。

手は全身を表しており、例えば首が痛い時には直接首

をマッサージュするのでなく、中指の第一関節と第二関節の間をマッサージュすれば良いそうです。また手のひらは全身のツボが集中しているという事と、手の甲もほぐしてあげるとリラククス効果が得られるそうので、早速行っている職員も見受けられました。
いつもは講義中心の研修会ですが、今回はヨガという事でリラククス効果もあり参加した職員からは「週一回でやりたい。」との声も聞かれました。ヨガを毎日行う事で体質・体調が改善されるとの事。皆さんも心身の健康の為、何か始めてみてはいかがでしょうか？

柳田新生寮 介護支援係長

嵯峨 未歩



行事予定

| 月 | 日(曜日) | 行事名 | 主な内容 | 備考 |
|----|------------------|------------|---|-------------|
| 1月 | 上旬 | 新年のつどい | 新年を寿ぎ、全員で集い新しい年の決意をあらたにする。 | 柳田新生寮 全体行事 |
| | 6日(月) | 新年のつどい | 新年を寿ぎ、全員で集い新しい年の決意をあらたにする。 | 竹生寮 全体行事 |
| | 9日(木) | 新春の食事会 | 新年を迎えレクリエーションを兼ね市内レストランで会食を楽しむ。 | 竹生寮 作業科男子班 |
| | 17日(金) | 梵天幸納 | 地域の行事に参加し、地域との交流を深め、作成した梵天を幸納し、利用者・職員の健康、交通安全を祈願する。 | 地域合同行事 |
| 2月 | 3日(月) | 節分 | 豆まきを行い鬼を払い、福を呼び一年の無病息災を願う。 | 全体行事 |
| | 8日(土) | ドキドキちゃれんじ | 参加者相互のコミュニケーションを図ると共に余暇活動や、生活技術の習得に結びつける。 | 相談支援事業 |
| 3月 | 27日(木) | ふれあいパーティー | 利用者、保護者と共に市内のホテルを利用し、食事やゲームで楽しく過ごす。 | 柳田新生寮 家族利用者 |
| | 4日(火) | ふれあいパーティー | 利用者、家族と共に市内のホテルを利用し、食事やゲームをして楽しく過ごす。 | 竹生寮 全体行事 |
| 4月 | 中旬 | 冬のレクリエーション | 公共施設を利用し、一般社会を体験させながら環境の変化に適応できるように楽しい一時を過ごす。 | 柳田新生寮 男 |
| | 25日(火) 26日(水) | 音楽療法セッション | 学校以外の運動や文化活動余暇活動の場を提供する。 | 相談支援事業 |
| | 27日(木) | 年度終了会 | 年度終了に際し、一同に会して会食を楽しみ、一年の労をねぎらう。 | 竹生寮 全体行事 |
| | 28日(金) | 年度終了会 | 外来療育を一年間利用した労をねぎらうと共に年度の終了を意識付け親子の交流の場とする。 | 相談支援事業 |
| | 31日(月) | 年度終了会 | 年度終了に際し、一同に会して会食を共にし、一年の労をねぎらう。 | 柳田新生寮 全体行事 |

編集サロン

あけましておめでとございます。昆虫に異変がみられると大雪の年になるそうですが、今年の冬は？朝から顔に汗しない程度に降ってほしいものです。今年もよろしくお願ひ致します。
(米澤・進藤・嵯峨・小玉)

生前のご厚情を感謝し、謹んでお悔やみ申し上げます。

平成25年12月20日
佐藤 興作様
(竹生寮 佐藤滋朗さん 父)

平成25年11月25日
佐々木 省三様
(柳田新生寮 佐々木浩樹さん 父)

平成25年11月8日
池田 昭善様
(グループホームささこやま 佐藤志津夫さん 義弟)



木村 金三さんを偲んで
平成25年10月16日逝去
竹生寮に36年
在籍した木村さん。製品加工科では作業の要として、福庭うどんの箱作りや紙袋の折り方を行っていただきました。晩年は体調を崩し、お部屋で過ごす事が多くなっていたようです。温厚な木村さんの笑顔が印象的でした。謹んでお悔やみ申し上げます。

おくやみ

新規採用

竹生寮 高橋 温子 8月6日
山真理 8月1日
佐々木 広美 10月1日
柳田新生寮

退職

ふきのとう 梁瀬 智暁 8月31日
(平成25年8月1日～12月31日まで)
マックスパリュ東北(柳田)支店
北都銀行秋田東支店
今野和夫

善意深謝

せいわ電器(株) 佐々木昭直
青柳会 美容院カマタ
柳田町内会
広面地区社会福祉協議会
谷内佐渡婦人会川辺喜美代
(柳田) 松村雄逸
柳田子供会鳴海夕香里
幸せを分つ会鎌田修一
大沼恵子
清和病院 中村順子
藤田智恵
木村祐一
秋田市社会福祉協議会
秋田県遊技業協同組合
秋田ヤクルト販売(株)
辻兵衛商事
マックスパリュ東北(柳田)支店
北都銀行秋田東支店
今野和夫